# 北九州市立かぐめよし少年自然の家　指定管理者検討会　会議録

１　開催日時　　令和８年９月２９日（火）　14：30～16：00

２　場　　所　　北九州市役所１１階　１１２会議室

３　出 席 者　　（構成員）花田道子構成員、小竹構成員、花田桂子構成員、
中村構成員、壱岐尾構成員
（事務局）子ども家庭局こども若者成育課長、企画振興係長、
担当職員

４　会議内容

○ 構成員の互選により、座長を選出（座長：花田道子構成員）
○ 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明
○ 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明
○ 応募団体より提案概要に関して説明
【玄海グリーン＆アドベンチャー共同企業体】
○ 応募団体の提案概要に対して質疑応答

（構 成 員）利用者数の目標について、令和１３年度の２万２千人は、令和７年度実績の約１万４千人に対して大きな数値に感じるが、目標達成のための方法を伺う。
（応募団体）利用者数はコロナ禍に大きく減少したが、それ以前は２万人を超える年度もあり、目標達成は不可能でないと考えている。しかし、近年は市内学校の利用が減少傾向にあるため、ひとつは体育館等の日帰り利用の増加。もうひとつは北九州市外の学校の利用の増加。この二つの増加を意識して広報活動を強化していく考えである。

（構 成 員）修繕費について、５年間一定の金額が計上されている。実際は経年劣化に比例し修繕費も増加するように思うが、前提や考え方を伺う。
（応募団体）計上金額は、募集要項に記載の金額である。また、基本協定などにもよるが、少額の修繕はこの修繕費にて対応し、高額の修繕や工事は市と協議の上で、基本は市が対応する前提である。

（構 成 員）人件費について、基本的には消費税非課税になると思うが、経費のところで消費税１０％が加算されていることの考え方を伺う。
（応募団体）構成企業が２つあり、人件費はそれぞれの企業から共同企業体に対

して請求する形となっている。外注のように消費税を含む請求となることから消費税が加算されている。

（構 成 員）マイクロバスについて、必要経費は指定管理料に含まないとあるが、実際には経費がかかり負担になる部分は問題ないか伺う。
（応募団体）マイクロバスはカヌースクール九州の所有車であり、使用した都度カヌースクール九州に実費を支払うこととしている。しかし、維持に関しては非常に厳しい状況であり、マイクロバスの買い替えが必要となる場合は、買い方など含め今後検討する必要がある。

（構 成 員）全体的な収支計画について、現在は他施設とも連携を図ることで、収支の安定化も図られていると思う。仮に指定管理が取れない施設が出て、他施設との連携や収支バランスが崩れた場合の対応を伺う。
（応募団体）指定管理する施設数が減った場合でも、各施設の運営には特に影響しないと考える。しかし、各施設への人材の振り分けなど課題もあるため、数年後の状況を考慮した人材採用などは行う必要がある。

（構 成 員）体験活動について、新規事業の「災害キャンプ」と「和紙作り」、地域連携の「学校への出前授業」を提案されたが、それぞれの内容と必要な費用を伺う。
（応募団体）防災キャンプは、水難防止に関する１泊２日の内容、和紙作りは、クラフト関係の内容、出前授業は、紫川でのカヌー講座や水辺の生物観察等の内容で、利用者の費用負担は、いずれも食事代、保険料、必要な材料代等で概ね２～３千円を想定。なお、出前授業は学校や市民センターなど要望に応じた場所へ伺うなど柔軟な対応を取る。

（構 成 員）体験プログラムについて、初めて施設を利用するような団体からの視点では、どのような体験プログラムがあるのか、ホームページでは分かりにくいと感じるが、実際どのように対応されているか伺う。
（応募団体）体験プログラムを希望の団体に関しては、様々なパターンの提案を個別に対応している状況。ホームページ等での表現不足は我々の改善点と認識し、今後改善していくつもりである。

（構 成 員）利用者アンケートについて、どのような意見があるのか伺う。
（応募団体）過去に多かったのはエアコン設置の要望。近年の異常な気候もあり、ここ数年は強く要望されていたが、２年前に宿泊室へエアコンを設置して以降は解消された。あとは食事内容等での意見もあったが、現在はこれも改善されている状況である。

（構 成 員）安全マニュアルについて、作成時に特に意識することを伺う。
（応募団体）近年は夏の強烈な暑さが体験活動の大きな制約になってきており、その制約がある中で利用者が満足するプログラムをどう提供できる

常に考えている。併せて、暑さから職員を守ることも必要であることから、熱中症対策については特に意識している部分である。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入。
その後、構成員全員で意見交換

（構 成 員）太平ビルサービス（株）については財政面、経験面ともに実績十分、(有)カヌースクール九州についても経験十分であり、これまでの共同事業もうまくいっていることから、基本的には共同企業体として全く問題ないと判断できる。

（構 成 員）新規事業の提案など、今後の利用者の増加に向けた方策がよく分かる内容である。一方で、施設は老朽化が進んでおり、これが今後どのように影響するか心配もある。

（構 成 員）自主的に物の提供や修理など様々対応しており、ものすごく経営面での努力を感じる。それだけに、収支計画に数字で表現されていればもっと良い提案になったと思う。

（構 成 員）建物が古く部屋数も多くはないが、川も山もあり自然豊かなとても良い場所である。財政面的に厳しいかもしれないが、人員が増やせるともっと多くの利用者にプログラムを提供でき、利用者の増加に繋がるのではないかと思う。

（構 成 員）主催事業へとても注力されていると感じる。ただ、キャンプファイアなど、この施設でそもそも何ができるのかホームページから伝わりにくい部分もあるので、今後の改善に期待する。

（構 成 員）今回は応募が１団体であったが、提案概要に関して特に気になる点や不安な部分は無かった。

○ 各構成員の評価レベルを再度確認のうえで、評価レベルを決定
○ 事務局は応募団体の合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議

【総合的な所見】
・実績に基づき施設の目的に沿った理念・方針が策定されている。
・アンケートを取るだけでなく、会議で検討し改善する仕組みがある。
・地域との連携、学校との共同プログラムなど推進している。
・運営に必要な人材確保を、見通しをもって行っている。
・地域での活動が多くみられ、貢献度は高いと思われる。

【最終的な検討結果】

・構成員の評価点及び意見を総合的に勘案し、検討会としては、玄海グリーン＆アドベンチャー共同企業体が指定管理者として相応しいと結論づけた。

○ 意見交換の後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。